

**問**

平成21年度の  
繰越明許費が約  
23億円程であったが、  
本年度順調に執行さ  
れているものか。事  
業の進捗状況は。

今繰越明許費の事  
業が促進中とすれば、  
平成22年度事業の遅  
滞現象が出るのでは  
と思うが、支障がな  
いものか。

**答**

繰越明許費総  
額は、23億2千  
6百万円、事業件数  
は29件である。8月  
末の進捗状況は、発  
注率は約85%となっ  
ている。平成22年度  
建設工事の発注件数  
は42件となっており、  
前年度同期と同等の  
進捗である。緊張感  
をもって早期発注に  
努力する。

**問**

沿岸地域等周  
辺市町の、災害  
における後方支援基  
地の整備の見通しは。  
支援基地となるため、  
どんな施設整備をし  
ようとしているもの

か、その構想を。

**答**

平成19年11月  
から国・県等へ  
の提案要望活動や情  
報収集し、早期整備  
を要望してきた。平  
成21年度から岩手県  
市議会議長会と連携  
を図り、後方支援体  
制整備の早期実現化  
に向けての活動をし  
ている。岩手県や東  
北地方整備局は、「宮  
城県沖地震」等を想  
定した緊急援助隊等  
の進出拠点として遠  
野運動公園としてい  
るところである。こ  
のように一定の形と  
して現れてきている。  
今後とも早期の実現を  
目指すところである。  
また、施設整備につ  
いては、市の災害時  
には、地域防災計画  
に位置づけられる収  
容避難所として活用  
する多目的利用施設  
を新消防庁舎付近に、  
「社会資本整備総合交  
付金」等を活用しな  
がら位置づけしてい



菊池民彌議員 (正心会)

## 後方支援基地について



後方支援基地の中心となる予定の遠野運動公園付近

きたい。

**問**

円高による地  
元企業への影響  
状況や雇用への影響  
状況、予想される高  
校生の就職難に対す  
る当市の対応策は。

**答**

市内の企業は、  
依然として厳し  
い状況にある。取引  
先の企業が円高の影  
響を受けることから、  
受注量の削減・コス  
トの低減は避けられ

ない状況にある。円  
高の影響により人員  
削減を強いられる可  
能性がある。

高校生等若者の地  
元就職支援策として、  
今年から実施してい  
る「ふるさと就業奨  
励事業」Ⅱ高校生等  
を採用した企業に一  
人当たり15万円の奨励  
金を支給する事業を  
継続する。